



# にこにこだより



令和2年（2020年）6月9日（火）

横須賀市立ろう学校 幼稚部

## ★第1週が終わりました★

第3号

6月1日（月）学校が再開し、幼稚部の子どもたちが元気に登校してきてくれました。校庭開放で何度か会っていたものの、やはり先生と子どもたちだけの時間・空間となると少し様子が違うかななどと心配していましたが、杞憂に終わりました。たんぽぽ組はいきなりお母さんと離れての活動となりましたが、不安で泣き出したりすることもなく先生やお兄さんたちと一緒に楽しく遊びました。あさがお組は、大きな声で朝の歌を歌っていました。隣の教室までよく聞こえてきましたよ。コロナの心配はあるものの、徐々に学校生活のペースを取り戻せそうです。

## ★絵日記活動について★

学校が9:30~11:00という短い時間のため、なかなか絵日記に取り組む時間がなく、申し訳ありません。じっくり取り組むことはできませんが、今週からは、少しでも時間を見つけて絵日記を見ながら話をする時間を作りたいと思います。給食が始まる第4週からは、クラス活動の時間に絵日記を使用しますので、それまでは各自のペースで絵日記活動に取り組んでください。

## たんぽぽ組の様子



6月5日（金）、校庭に黄色いちょうちょがひらひら。網を持って捕まえに行ったところ、あら残念、ひらひらと逃げてしまいました。みんなでがっかりしていると、おや、オレンジの蝶々がひらひら。今度は逃がさないようにさっと網をかぶせました。

しばらく観察した後、「そうだ、このちょうちょ、みんなにせようよ」ということになり、あさがお組で、みんなで観察することにしました。そして「足は何本かな?」「何を食べるのかな?」と疑問を投げかけながら、外から花を持ってきて入れてみました。「さあ、ちょうちょはお花に止まるかなー?.....」「ん?」よく見ると、何やら黒い物体が葉っぱの裏にもぞもぞ。「あー、むしだー!」「きもちわるいね」と腰が引ける子どもたち。散々騒いだ後、最後はあさがおのお兄さんが勇気を振り絞り、花ごとつまんで「さようならー!」と外に逃がしてあげました。

子どもたちと外を歩くと、様々な発見があり、そこに小さなドラマが生まれます。その驚きや感動は1人よりもみんなで共有するとさらに印象深くなります。短い時間ですが、楽しい時間を過ごしているたんぽぽ組でした。





## あさがお組の様子



6月8日（月）、あさがお組では久しぶりに2人がそろい、朝からキャッキッと楽し気な声がクラスに響きました。子どもの声が聞こえると教室も一段と明るくなった気がします。久しぶりに会うと、新しく言える言葉も増えていたり、多くの場面でできることも増えていて驚きました。

学校が始まり、さっそく12日（金）になかよし会が開かれるので、「はじめのことば」「おわりのことば」の練習をしました。1年前の「なかよし会」の写真を見て思い出しながら、「いつするの?」「どこでするの?」「だれとするの?」「なにをするの?」と進めました。

これからは幼稚部のお兄さんとして頑張ってもらいたいと思います。また、子どもたちの新たな一面を引き出せるよう活動していきたいと思います。

### ★あじさいの季節になりました★

以前紹介しましたが、ろう学校には様々な植物が生えています。季節ごとに様々な表情を見せてくれるので、その様子を観察するのも楽しいものです。さて、桜やつつじが咲き終えたと思ったら、いつの間にか紫陽花がきれいに咲く季節になりました。そのほかにも小さくてきれいな花がたくさん生えています。よく見ないと見過ごしたり、踏みつぶしたりしてしまう小さな花です。とてもきれいだと思ったので、ご紹介しますね。

